

平成16年10月29日

各 位

会社名 株式会社松屋フーズ
代表者名 代表取締役社長 瓦葺 利夫
(コード番号 9887 東証第1部)
問い合わせ先 経営管理部長 斎藤 道夫
(TEL 03-3904-1121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年7月30日の第1四半期業績概況発表時に公表した修正業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期 連結業績予想数値の修正

中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)		(単位:百万円、%)	
	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	26,950	470	50
今回修正予想(B)	26,860	438	33
増減額(B-A)	89	31	16
増減率(%)	0.3	6.7	32.1
(ご参考)前中間期実績(C) (平成15年9月中間期)	26,207	2,880	1,391

2. 平成17年3月期 個別業績予想数値の修正

中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)		(単位:百万円、%)	
	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	26,900	460	120
今回修正予想(B)	26,793	395	84
増減額(B-A)	106	64	35
増減率(%)	0.3	13.9	29.4
(ご参考)前中間期実績(C) (平成15年9月中間期)	26,170	2,827	1,443

3. 修正の理由

平成16年7月30日時点で、平成17年3月期中間期の連結予想当期純利益を50百万円としていましたが、実績は33百万円と16百万円(32.1%)の未達となりました。

同様に、平成17年3月期中間期の個別予想当期純利益を120百万円としていましたが、実績は84百万円と35百万円(29.4%)の未達となりました。

これは、当社役職員の福利厚生を目的とした施設の経営が悪化し「特別清算」の対象となったため当社保有の当該施設の会員権に係る評価損(32百万円)を今中間期の特別損失に計上したことが主な要因です。

4. 平成17年3月期 連結業績予想数値の修正

通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	56,700	1,220	280
今回修正予想(B)	56,340	1,220	280
増減額(B - A)	360	0	0
増減率(%)	0.6	0.0	0.0
(ご参考)前中間期実績(C) (平成15年9月中間期)	54,235	5,697	2,714

5. 平成17年3月期 個別業績予想数値の修正

通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	56,600	1,110	300
今回修正予想(B)	56,200	1,150	320
増減額(B - A)	400	40	20
増減率(%)	0.7	3.6	6.7
(ご参考)前中間期実績(C) (平成15年9月中間期)	54,171	5,548	2,715

6. 修正の理由

- (1)個別業績予想では、出店計画を110店舗から84店舗に修正したことから、売上高の減少が見込まれます。
- (2)一方、出店数を抑制したことにより、出店に伴う初期費用負担の軽減が見込まれることに加え、販管費の変動費部分の一層のコストコントロールに努めることから利益につきましては個別業績予想に係る若干の変更といたしました。